

平岡公園ボランティア「平岡どんぐりの森」

ツリーウォッキング＆湿原のヨシ刈り（11月9日）



ツリーウォッキング「樹木と野鳥の関係」

気持ち良い秋空の下、朝10時に集合し、佐藤佑一さん（ゆうさん）の案内で、ツリーウォッキングはスタートしました。歩き始めてすぐの梅の香橋では、これから歩く森を眺めました。平岡公園は、50%以上がミズナラやコナラなどどんぐりの木で、コナラ自生の北限にあたるそうです。落葉している木が多い中、ミズナラやコナラは、まだ赤みを帯びた茶色の葉を残していて、とても綺麗でした。



森の中を進んでいくと、ウダイカンバとシラカンバに出会いました。どちらも似ているなと思っていましたが、ウダイの葉はハート型でシラカンバの葉は三角形、樹形もウダイは太い幹が大胆に枝分かれをして、シラカンバは幹から枝が細かく分かれていることなどを教えてもらおうと、森の中でも自然と見分けられるようになりました。他にも、カラ類はアズキナシの種を食べるけど、リスは周りの果肉しか食べないことなども教えてもらいました。11月は、葉も落ちて少し寂しい季節だと思っていたが、ゆうさんのお話を聞きながら、みんなでワイワイ森を歩くと、とても楽しく、歩き終わったら、平岡の森とちょっと仲良くなった気がしました。



湿原のヨシ刈り

ツリーウォッキング終了後に、どんぐりの森のメンバーと公園スタッフで、人工湿地のヨシ刈りをしました。どんぐりの森は、湿性植物の種まきや育成、除草作業など様々な面で、湿原作りに協力しています。この日も天候が悪く寒い中でしたが、湿原に入り、みんなでカマなどを使って一生懸命作業をしていました。このような地道な作業によって、平岡公園の湿原は維持されているんですね。



平岡どんぐりの森代表
荒井さんにインタビュー



「平岡どんぐりの森」は、活動を始めて今年で11年目。札幌市公園ボランティアの中でも、歴史ある団体の1つです。代表の荒井さんに、今までの活動のこと、そしてこれからの目標などを伺いました。

Q 「平岡どんぐりの森」が活動を始めた経緯を教えてください。

1998年に発足した「スコップ俱楽部」を母体として、2002年に発足しました。地域のお母さん達が、平岡公園や東部緑地など、地域にある豊かな自然に関わる活動がしたくて始めました。

Q これまでの活動で印象に残っているものがありますか？

平成15年から16年にかけて、道路建設で潰されそうだったザリガニの沢山いる場所（通称：ザリガニ沢）でレスキュー活動をしました。道路完成後にザリガニの追跡調査をしていましたが、ザリガニの数が激減した時期があり、すごくショックでした。最近では回復の兆しが見られるので、ホッとしていますが、今後も注意深く見守ってきたいと思います。また、この時に身近な減っている生き物を、これ以上減らないようにするために、「見守る目」が必要なんだということを、強く感じました。

Q 活動する上での楽しみや、やりがいはなんですか？

常に、自分達が楽しみながらできることをやっています。今日のツリーウォッキングではヤマセミに出会うことができましたが、いつも新たな発見があり、みんなで歩くと普段見逃していたものが見えて楽しいです。平岡公園は川や池が残っていて、本当に良い所です。この自然を楽しみ、味わいたいです。

Q これからの目標・やってみたいことはありますか？

自然の中には、誰かに教えてもらわないと気づかないことって、沢山あると思います。気づかなかったことに気づく楽しさを、沢山の人に伝える活動をしていきたいと思います。

Q このレポートを見てくれた人に一言

平岡公園は梅だけでなく、見所はたくさんあります！
イベントも色々やっているので、ぜひ来てくださいね！

「平岡どんぐりの森」の活動を知りたい方はこちらをチェック！

☆平岡どんぐりの森ホームページには、活動報告やイベント情報を掲載しています。

<http://dongurinomori.web.fc2.com/index.html>

☆どんぐりの森通信を年2回程度発行しています。平岡公園管理事務所で配布している他、郵送も可能です（要切手）。